

すくすく

平成26年10月24日（金） No. 7 生涯学習推進アドバイザー 右代・松岡

スポーツの秋

冬の足音が聞こえています

10月は、別海町の一大会であるパイロットマラソンがありました。すくすくママからも5キロの部、フルマラソンの部に挑戦した方がいました。それぞれ見事完走。5キロの部では、中高生の若い世代を押さえ、見事優勝を飾ったすくすくママ。競技場に入ってきた時の歯を食いしばって走る真剣な表情に心が打たれました。フルマラソンに挑戦したすくすくママは、2年ぶり4度目のマラソン、産後半年での完走。新聞にも子どもを抱きかかえてゴールする写真が掲載されていましたね。満面の笑みがとってもステキでした。

好きなことを自由にできる独身時代とは違って、子育てと家事をこなしながらの練習は、とても大変だったと思います。でも、頑張るお母さんの姿は、まだ小さなすくすくっ子の心に刻まれているはずです。準備からゴールまで、様々なドラマがあったようです。支えてくれた家族にも感謝ですね。

9月の末に行われた遊ぼっと（ミニバレーや駅伝）や、ママさんバレーの全道大会に出場されたすくすくママもいます。とにかく、人が一生懸命に何かに打ち込んでいる姿はステキです。その姿は、いろいろなことを語りかけてくれます。口で語るよりもずっとずっと重い思いが伝わってきます。先日閉幕したアジア大会、体操の世界選手権でも、多くの日本人選手の活躍がありました。改めて、スポーツの力を感じる秋でしたね。

秋といえば、毎年、各地域において行われている地域文化祭。今年は、『交流の輪を未来につなげよう！』

芸術の秋

と題して、10月から芸能発表や作品展示など各種イベントが始まり、佳境を迎えています。きょうだいのいるところでは、学芸会（学習発表会）で、子どもの成長を感じている家庭も多いのでは!!

幼稚園や保育園では、これからお遊戯会を迎えるところも多いですね。

すくすくのおともだちも、これから、歌う、踊る、音を奏でる、絵を描く、字を書く、お芝居をする（ごっこ遊び）など、いろいろなことに興味を持つ時期ですね。遊びから芸術が生まれる時期と言ってもいいのかもしれない。



- * 各地域における文化祭、別海町芸術文化祭の日程は、10月広報に載っています。それぞれご確認ください。
役場のホームページにおいても閲覧できます。

11月は、子どもの遊びについて考えていきます。子どもの可能性がどんなふうに広がっていくのか、遊びの面から科学していききたいと思います。

救急救命講習

10月の学習会は、『もしもの時のために～親ができること～』と題して、別海消防署より救急救命士さんを講師に招き、AED（自動体外式除細動器）の使い方や心肺蘇生法を学びました。

AEDは、器械から流れるアナウンスの指示に従ってパッドを貼ったり、スイッチを押したりすればよいとのことでした。電気ショックが必要かどうかも器械が判断してくれるので、呼吸をしているのかわかる時は、まず試してみる勇気が必要ですね。

中央と東公民館の学級では、実際に心配蘇生法を体験しました。心臓マッサージは、思った以上に力があるのに対して、乳幼児への人工呼吸は、思った以上に息を吹き込まなくてもよいということを実際に体で感じることができました。その他、誤飲やけいれんの対処法なども学びました。

実際にAEDや心臓マッサージなどが必要な場面に出くわすということは、めったにないことですが、できれば避けたいことですが、「今年に入って2回も人が目の前で倒れるのを目撃した」というお母さんもいました。救急車が到着してから救命作業を開始するよりも、そばにいる方が即座に心肺蘇生を行う場合の方がずっと救命率も上がるとのことでした。

何事もなく安全に生活できるのが一番ですが、思わぬところで思わぬ事故が起きたり、ケガをしてしまうことが多いのが乳幼児の時期です。（参加された方の中にも、ヒヤとした体験の持ち主、いましたね。）緊急事態時に冷静になるのはとても難しいことですが、講師の方から「心配なことがあれば、いつでもどんなことでも119番してください。」という心強い言葉もいただきました。緊急対処法の口頭指導もして下さるそうです。

今回は、どの学級も熱心に質問されるお母さんが多く、危機意識の高さを感じる講習会となりました。☆心臓マッサージのやり方など、昔と変わっている部分もあるそうです。「一度学んだからもう大丈夫！」ではなく、特に子どもが小さなうちは、年に一度くらいはこのような講習に参加されることをおすすめします。



①胸の動きや足の裏で意識を確認 ②呼吸がないと思ったら心臓マッサージ30回 ③次は人工呼吸2回



かあちゃん、ちゃんと助けてあげてね！

【10月各学級参加状況】

		学級生	子ども	合計
中央公民館	2,3歳	11	17	28
	0,1歳	14	17	31
	体験学習	14	17	31
西公民館	学習会	8	9	17
	体験学習	5	5	10
東公民館	学習会	6	7	13
	体験学習	9	10	19

台風の影響で、東公民館の体験は残念ながら中止になってしまいましたが、西公民館、中央公民館の体験は、色とりどりの秋の景色の中、無事行われました。

10月体験学習…

4ヵ月前、まだ寝返りやハイハイもできるかどうかの赤ちゃんだった子たちも、自転車を押してみたり、自由自在に目的の場所に移動したりと大きな成長を感じました。追いかけるだけでグッタリ…というお母さんもいましたね（笑）。2,3歳のおともだちもすっかりお母さんとコミュニケーションが取れるようになり、思い思いの場所で楽しそうに遊んでいました。そんな場面をカメラに収めようと必死に追いかける私達でしたが、ここぞという時に顔が頭になっていたり、画面から消えていたり、ある意味上手に逃げていく子どもたちは、鬼ごっこでオコをもてあそんでいるかのようでした。これも遊びの一つだったのかもしれませんがね……（苦笑）。それだけ動けるようになっている証拠でもありますね。

ゆめの森公園

午後からは、2館とも外遊びも楽しめました。遊具遊びやどんぐり拾い、トロッコに挑戦した親子もいましたね。もう少し大きくなれば、ターザンロープや長いすべり台にも挑戦できるようになりますね。冬になるとソリ遊びも楽しめる場所です。

今度は、ぜひ、ご家族で！！



わんわん

わんわん、どこ？



極上のいい顔よ！

みんな、いっぱい動けるようになったね！



広くて自由自在！



ぼくもつれてって～

どんぐりひろったよ！



西公民館生



みんなでトロッコ、楽しかったよ！



みんな、がんばってこいでね～！



開会式…青チーム、黄色チーム、みんな上手に並んでいます。



勝負にならなかった
綱引き (笑)
(タオル引き)



魚つりリレー
「さけ、とったど〜」



ミニ運動会!

【東公民館】

東公民館の学級では、ゆめの森体験の代わりにして、ミニ運動会を行いました。集団行動は難しい時期ですが、まずは形からということで、あえて入場行進から開始。なんとなく運動会を意識している子、ムリヤリ手を引っ張られている感たっぷりの子、何が起きているかわからないけど、とりあえずお母さんに抱っこされている子と様子は様々でしたが、見ているだけで微笑ましい光景でした。

種目は、徒競走や綱引き (タオル引き)、はじめてのおつかい、魚つりリレーなどなど。ルールはあってないようなもの (笑)。子ども達が大人の思惑通りに動くわけがなく、それがまたおもしろくておかしくて……。

最後の新聞ビリビリも、夢中になっていた子ども達。だんだんたまってくると、教えたわけでもないのにふわっと舞い上げる遊びに自然に変わっていきました。こんな簡単なことでも子どもは楽しめるし、より楽しむ方法まで自分で見つけ出せるんだなと感心しました。

最後のお片づけもチーム対抗戦。みんな必死であつという間に終わりましたね。参加した皆さん、おつかれさまでした。

はじめてのおつかい…
「この絵と同じ物を見つけるんだよ!」



ゆうびんリレー
「ここにおてがみ入れてね」

お知らせ

十月二十六日 (日)、中央公民館
大集会室にて地域文化祭が行われます。
十二時前後に公民館職員の発表があります。「エビカニクス」を踊るので、ぜひ、見に来てくださいな。

